

令和2年（2020年）7月豪雨
（第8回）非常災害対策本部会議

議 事 次 第

日時：令和2年7月17日（金）16：00～
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 開会
2. 政府の対応状況等について
3. 武田非常災害対策本部長発言
4. 閉会

令和2年7月豪雨について

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒)

令和2年7月17日14時00分

<16日からの見通しの変化> 関東甲信地方では梅雨前線の影響をより強く受ける予想に変わり、予想雨量が増えた。南西諸島では、暖かく湿った空気の影響で明日にかけて警報級の可能性がある。

<概況> 前線は東シナ海から屋久島付近を通して伊豆諸島へのび、停滞している。前線上の低気圧が屋久島付近にあって、東北東へ進む。南西諸島では大気の状態が非常に不安定で激しい雨、関東地方南部や伊豆諸島では強い雨が降っている所がある。

<気象の見通し> 前線は18日朝から夜にかけてやや北上し、西日本、東日本南岸に停滞する見込み。前線上の低気圧は不明瞭になりながら17日は西日本の南岸を進み、18日夜には関東地方南部に進む。18日にかけて東日本太平洋側を中心に雷を伴い激しい雨が降る所がある見込み。南西諸島では、18日にかけて大気の状態が非常に不安定で、激しい雨のおそれ。19日以降も前線は日本海または本州付近にあり、曇りや雨の日が続き、少なくとも19日まで前線の活動が活発となり大雨となる可能性がある。

<警戒事項> 土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。

<熊本県の見通し> 熊本県（天草・芦北地方、球磨地方）は18日朝まで概ね晴れ、その後曇りで所により雨となる見込み。18日12時までに予想される24時間雨量は熊本県の多い所で、20ミリの見込み。

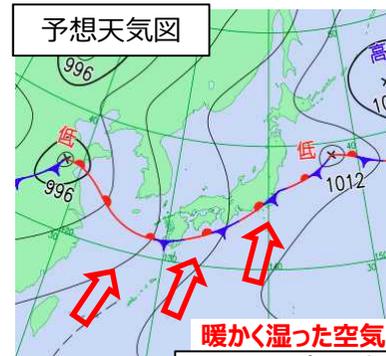
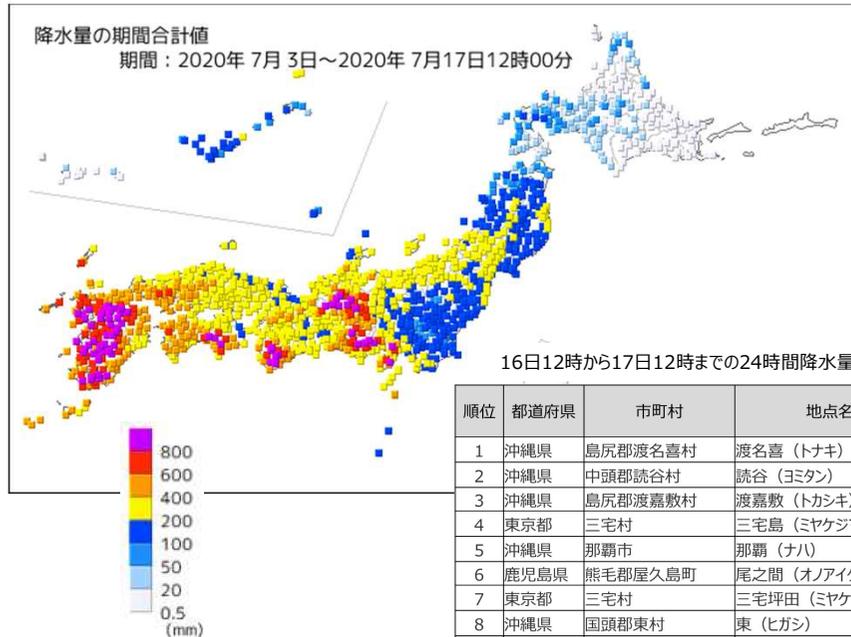
実況と予想される雨量（多い所） 単位ミリ
■昨日から予想雨量が増えた地域

	降り始め（3日）から 17日12時までの 総雨量	18日12時までの 24時間雨量	19日12時までの 24時間雨量
東北地方	337.0	20	およそ50
関東甲信地方	1485.0	150	50~100
北陸地方	480.0	40	およそ50
東海地方	1155.5	100	100~150
近畿地方	1358.5	50	およそ50
中国地方	571.0	30	およそ50
四国地方	1497.0	20	およそ50
九州北部地方	1357.5	20	およそ50
九州南部	1215.0	50	50~100
奄美地方		50	50~100
沖縄地方	170.5	80	およそ50

大雨の警報級となる可能性のある期間

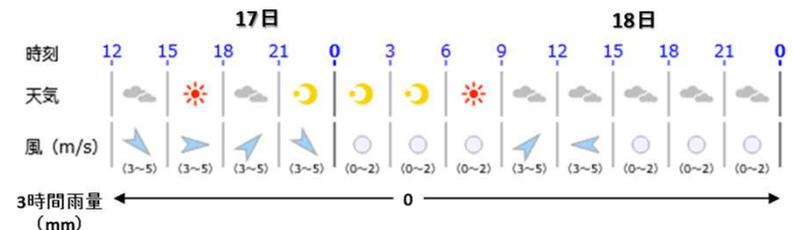
■可能性がある ■可能性が高い

日	時	17日		18日	19日
		12~18	18~6	6~24	
東北地方	大雨				
関東甲信地方	大雨				
北陸地方	大雨				
東海地方	大雨				
近畿地方	大雨				
中国地方	大雨				
四国地方	大雨				
九州北部地方	大雨				
九州南部	大雨				
奄美地方	大雨				
沖縄地方	大雨				



順位	都道府県	市町村	地点名	期間降水量 (mm)
1	沖縄県	島尻郡渡名喜村	渡名喜（トナキ）	151.5
2	沖縄県	中頭郡読谷村	読谷（ヨミタン）	134.5
3	沖縄県	島尻郡渡嘉敷村	渡嘉敷（トカシキ）	117.0
4	東京都	三宅村	三宅島（ミヤケジマ）	103.5
5	沖縄県	那覇市	那覇（ナハ）	102.5
6	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	尾之間（オノアイダ）	102.0
7	東京都	三宅村	三宅坪田（ミヤケツボタ）	98.5
8	沖縄県	国頭郡東村	東（ヒガシ）	98.0
9	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	屋久島（ヤクシマ）	91.5
10	鹿児島県	熊毛郡中種子町	中種子（ナカタネ）	89.5

熊本県芦北町付近の天気（17日11時）



令和2年7月豪雨による被害状況等の概要について（第32報）

水道の被害状況

熊本県、大分県内の3事業者において、485戸が断水中（13県41事業者において最大断水戸数※32,006戸、うち31,521戸が解消済み）

※各市町村の最大断水戸数の合計

県	事業者	断水戸数（戸）		断水期間
		最大	現在	
熊本県	やつしろし 八代市	1,015	105	7/4～
	くまむら 球磨村	約900	345	7/4～
大分県	ひたし 日田市	225	35	7/7～
その他		29,866	0	7/4～
合計		32,006	485	

医療関係

(1) 医療施設の被害状況（7月17日09時00分）

EMIS（広域災害救急医療情報システム）から報告されている医療機関の継続した浸水被害等は解消

	浸水		停電		断水	
	最大	現在	最大	現在	最大	現在
熊本県	26	0	10	0	14	0
鹿児島県	1	0	0	0	0	0
福岡県	4	0	1	0	0	0
大分県	2	0	1	0	0	0
岐阜県	1	0	0	0	0	0
合計	34	0	12	0	14	0

(2) DMAT（災害派遣医療チーム）の活動状況（7月17日09時00分）

活動中 DMAT 隊総数 54（うち九州地方で活動中 41）

社会福祉施設等関係

(1) 高齢者関係施設の被害状況

熊本県球磨村の特別養護老人ホーム千寿園で、浸水被害があり、14人が死亡、残り51名全員を救助し、病院に搬送

市町村名	被災施設数		被災状況別内訳					
			浸水等		停電		断水	
	最大	現在	最大	現在	最大	現在	最大	現在
熊本県	34	8	30	8	11	2	12	4
福岡県	45	8	43	8	5		1	
長崎県	11		11					

市町村名	被災施設数		被災状況別内訳					
			浸水等		停電		断水	
	最大	現在	最大	現在	最大	現在	最大	現在
大分県	6	1	4	1	2		1	
長野県	2				2			
岐阜県	1		1					
合計	99	17	89	17	20	2	14	4

(2) 障害児・者関係施設の被害状況

福岡県で1カ所、熊本県で3カ所、鹿児島県で1カ所、浸水被害あり。
人的被害無し

(3) 児童関係施設等の被害状況

福岡県で3カ所、熊本県で12カ所、大分県で1カ所、浸水被害あり。
人的被害無し。

保健・衛生関係

(1) DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）の派遣

熊本県より DHEAT の応援派遣について調整の連絡があり、以下のとおり派遣調整を行い、活動中

派遣先	活動場所	チーム数		派遣元 (派遣元については、県内市町村を含む場合がある)
		派遣要請	活動中	
熊本県	人吉保健所 球磨郡球磨村 役場	2	2	佐賀県（7/8～7/13）、熊本市（7/13～7/19）、島根県（7/19～） 長崎県（7/8～）
	八代保健所	1	1	佐賀県（7/13～7/19）
	水俣保健所	1	1	三重県（7/10～7/15）、宮崎県（7/15～）

(2) 保健師等の応援派遣

熊本県より保健師等の応援派遣について7月6日に4チーム、7月9日に1チーム、7月13日に2チームの派遣要請があり、厚生労働省において派遣調整を行い、以下のとおり活動中

派遣先	派遣要請	チーム数		派遣元 (派遣元については、県内市町村を含む場合がある)
		活動中		
熊本県	球磨郡球磨村	4	4	福岡市（7/7～）
				香川県・高松市（7/8～7/13）、 山口県・下関市（7/14～）
				高知県・高知市（7/15～7/20）、宮崎 市（7/20～7/28）、宮崎県（7/28～）
				鳥取県（7/16～7/20）、愛媛県（7/20～）
	葦北郡芦北町	1	1	徳島県（7/7～）
	葦北郡津奈木町	1	1	広島県（7/8～）
人吉市	1	1	岡山県・岡山市・倉敷市（7/10～）	

令和2年7月豪雨に係る農林水産関係の被害状況
(第28報)

農林水産関係の被害状況等を報告します。

1 人的被害の状況

(1) ダム・ため池

- ・ダムについては、被害なし。
- ・ため池 計11箇所¹で損傷等

<大雨特別警報が出された市町村> 5箇所²で損傷等

大雨特別警報が出された市町村の防災重点ため池1,992箇所
全てで点検済み。人的被害なし。

県名	防災重点 ため池数	点検済み	異常		備 考
			異常なし	異常あり	
長野県	100	100	100	0	
岐阜県	727	727	727	0	
福岡県	278	278	278	0	
佐賀県	432	432	431	1	損傷1
長崎県	135	135	135	0	
熊本県	265	265	261	4	決壊1、損傷3
鹿児島県	55	55	55	0	
合 計	1,992	1,992	1,987	5	

<その他> 6箇所³で損傷

- ・秋田県1箇所、京都府1箇所、兵庫県1箇所、大分県3箇所⁴で損傷の被害。人的被害なし

(2) 林野関係被害

○主な被害

- ・熊本県内で、芦北町など282箇所⁵で山腹崩壊などが発生。(家屋損壊。人的被害あり)
- ・大分県内で、日田市など22箇所⁶で山腹崩壊などが発生。(家屋損壊。人的被害なし)
- ・鹿児島県内で、垂水市など44箇所⁷で山腹崩壊などが発生。(家屋損壊。人的被害なし)

(3) その他

- ・広島県北広島町の農道1箇所、崩落が発生。(車両転落。人的被害あり(軽症))

2 生活インフラへの影響

(1) 農業集落排水施設

福岡県(1町)、長崎県(2市)、熊本県(1町2村)、岐阜県(2市)、島根県(1市)の16施設で被災。応急対策済み

(2) 営農飲雑用水施設

熊本県2市1町1村の4施設において被災。全施設応急復旧済み

3 農作物等の被害

- 熊本県人吉・球磨地域、芦北地域、鹿児島県北薩地域等において甚大な被害を確認。
- 九州北部地方、岐阜県、長野県など大雨特別警報が発表された地域を中心に農作物の大きな被害が想定される。

農林水産関係被害の概要

区分	主な被害	被害数	被害額(億円) (*1)	被害地域(現在40道府県より報告あり)
農作物等	農作物等(*2)	714ha	7.8	青森、岩手、秋田、福島、群馬、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、和歌山、広島、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島(22府県)
	樹体(*3)	1.9ha	0.2	岐阜、愛知、山口、愛媛、高知、長崎、熊本(7県)
	家畜	113,913頭羽	1.2	愛知、佐賀、熊本、大分、鹿児島(5県)
	農業用ハウス等	196件	1.5	岐阜、愛知、三重、京都、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島(11県)
	農業用倉庫・処理加工施設等	39件	6.9	三重、愛媛、熊本、大分(4県)
	畜産用施設	20件	0.1	福岡、佐賀、熊本、大分、鹿児島(5県)
	共同利用施設	5件	0.3	福岡、佐賀、熊本(3県)
	農業・畜産用機械	620件	25.5	福岡、熊本(2県)
	その他	7件	調査中	岐阜、滋賀(2県)
小計			43.5	
農地・農業用施設関係	農地の損壊	3,588箇所	67.1	秋田、栃木、神奈川、長野、静岡、富山、石川、岐阜、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、広島、山口、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島(27府県)
	農業用施設等	2,785箇所	95.6	秋田、福島、栃木、千葉、長野、静岡、富山、石川、岐阜、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、広島、山口、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島(28府県)
	小計			162.7
林野関係	林地荒廃	618箇所	191.5	北海道、秋田、山形、千葉、新潟、富山、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島(30道府県)
	治山施設	54箇所	6.3	山形、富山、長野、静岡、滋賀、徳島、高知、熊本、大分、鹿児島(10県)
	林道施設等	1,820箇所	62.2	岩手、秋田、福島、栃木、新潟、富山、石川、長野、岐阜、静岡、愛知、大阪、奈良、和歌山、広島、山口、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島(26府県)

	木材加工・流通施設	29 件	4.2	岐阜、滋賀、広島、熊本、大分（5県）
	特用林産物施設等	24 件	1.0	静岡、熊本、大分、宮崎（4県）
	小計		265.2	
水産関係	漁船	8 隻	調査中	愛知、福岡、宮崎（3県）
	養殖施設	11 件	調査中	大分、鹿児島（2県）
	水産物	15 件	調査中	岐阜、熊本、大分、宮崎、鹿児島（5県）
	漁具倉庫等	5 件	0.2	福岡、鹿児島（2県）
	漁港施設等	3 漁港	1.2	長崎、熊本、大分（3県）
	共同利用施設(水産)	8 件	0.4	岐阜、熊本（2県）
	海岸漂着物等	55 箇所	2.9	島根、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島（8県）
	小計		4.6	
合計		476.0		

* 1：現時点で都道府県から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。なお、報告には被害数、被害額が調査中のものも含まれる。

* 2：水稲、大豆、にんじん、トマト、キュウリ、ネギ、オクラ、かぼちゃ、タマネギ、水菜、なす、もも、イチジク、キウイ、はっさく、すもも、花き、葉たばこ等

* 3：もも、ぶどう、ゆず、栗

○農作物等の被害状況

- ・ 農業用ハウス・附帯施設の損壊
- ・ 農業用ハウス内浸水
- ・ 水稲、施設野菜、露地野菜、果樹、花き、葉たばこの冠水
- ・ 露地野菜の倒伏
- ・ 果樹の枝折れ、落果
- ・ 共同利用施設、畜舎、堆肥舎、食肉処理施設の冠水、損壊
- ・ 家畜（牛、豚、鶏）のへい死
- ・ 農業用機械、農業用資材の冠水

○激甚災害の指定

- ・ 公共土木施設災害復旧事業、農地等の災害復旧事業は7月10日に本激（全国が対象）の指定見込みが公表された。
- ・ 中小企業に関する特別の助成は7月13日に本激（全国が対象）の指定見込みが公表された。

4 職員派遣（MAFF-SAT）

7月17日 7:00 現在

	17日派遣	延べ人数	備考
関東農政局	2人	18人	長野県
東海農政局	2人	37人	岐阜県
九州農政局	23人	305人	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県
中部森林管理局	0人	13人	長野県、岐阜県
九州森林管理局	5人	63人	福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県

農村振興局	0人	2人	鹿児島県
林野庁	0人	6人	熊本県（球磨川流域の山地災害対策等）
水産庁	4人	22人	熊本県（八代海の流木等の対策）
計	36人	466人	

5 食料支援等の対応状況

- ・熊本県に食料6万点、飲料9万2千点、乳児用ミルク1,200点を手配し、食料6万点、飲料8万1千点、乳児用ミルク2千点が到着したことを確認。順次避難所に発送。

7月16日17:00現在

品 目		要請数	手配中	到着数
食 料	パックご飯	25,000		25,024
	レトルト・詰	25,000		25,074
	カップめん	10,000		10,080
	小 計	60,000		60,178
飲 料	水	40,000		40,050
	お茶	22,000	12,000	10,368
	スポーツドリンク	7,000		7,008
	経口補水液	3,000		3,000
	野菜ジュース	20,000		20,376
	小 計	92,000	12,000	80,802
乳児用ミルク	粉ミルク	300		360
	液体ミルク	900		1,656
	小 計	1,200		2,016
合 計		153,200	12,000	142,996

6 農林水産省の対応

<本省>

- ・大臣官房地方課災害総合対策室に農林水産省災害情報連絡室設置（7月4日（土）4:50）
- ・7月3日からの大雨に関する農林水産省緊急自然災害対策本部幹事会（7月4日（土））（大臣よりリエゾンを通じて被害状況を速やかに把握すること、応急対策に万全を期すこと、プッシュ型支援を速やかに進めることを指示）
- ・農林水産省緊急自然災害対策本部設置（7月5日（日））
- ・水産庁第1回災害情報連絡会議を開催（7月6日（月）9:00）

(現在の被害情報等の共有と速やかな被害情報の把握を指示)

- ・農林水産省緊急自然災害対策本部（第1回）を開催（7月6日（月）17:30）（関係省庁と緊密な連携、被災自治体との連携をさらに強化、新型コロナウイルス感染症対策を徹底することを指示）
- ・水産庁第2回災害情報連絡会議を開催（7月10日（月）10:30）
（災害対応関係情報の共有と災害に係る支援制度の整理等を指示）
- ・農林水産省緊急自然災害対策本部（第2回）を開催（7月10日（金）11:50）（農林水産業の被害状況の報告、避難所のニーズに適確に対応した支援の実施を指示）

<地方農政局等>

- ・九州農政局災害対策本部を設置（7月4日（土）4:50）
- ・九州農政局災害対策本部会議（第1回）開催（7月4日（土）8:00）（気象や被害等の情報共有と情報収集体制の確保を指示、熊本県、鹿児島県の災害対策本部に鹿児島県拠点、熊本県拠点からリエゾンを派遣し情報収集）
- ・中国四国農政局災害対策連絡会を設置（7月4日（土）8:30）
- ・九州農政局災害対策本部会議（第2回）開催（7月4日（土）17:30）
（被害等の情報共有等を継続）
- ・九州農政局災害対策本部会議（第3回）開催（7月5日（日）15:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）
- ・近畿農政局災害対策連絡会を設置（7月6日（月）10:00）
- ・九州農政局災害対策本部会議（第4回）開催（7月6日（月）10:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）
- ・九州農政局災害対策本部会議（第5回）開催（7月6日（月）18:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、熊本県、鹿児島へリエゾン派遣を継続、新たに福岡県、佐賀県、長崎県へリエゾン派遣）
- ・東海農政局災害対策本部員等連絡会議を開催（7月6日（月）18:15）
- ・関東農政局災害対策本部幹事会を設置（7月6日（月）18:30）
（災害対策本部設置基準の確認や、農業被害について関係部課及び都県拠点の情報共有を図ることを確認）
- ・九州農政局災害対策本部会議（第6回）開催（7月7日（火）17:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）
- ・東海農政局災害対策本部を設置（7月8日（水）6:30）
- ・関東農政局災害対策本部を設置（7月8日（水）6:43）
長野県の災害対策本部に長野県拠点からリエゾンを派遣し情報収集
- ・東海農政局災害対策本部（第1回）を開催（7月8日（水）8:00）

- 岐阜県の災害対策本部に岐阜県拠点からリエゾンを派遣し情報収集
- ・ 東海農政局災害対策本部（第2回）を開催（7月8日（水）17:15）
 - ・ 九州農政局災害対策本部会議（第7回）開催（7月8日（水）18:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）
 - ・ 東海農政局災害対策本部（第3回）を開催（7月9日（木）15:00）
 - ・ 九州農政局災害対策本部会議（第8回）開催（7月9日（木）17:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）
 - ・ 東海農政局災害対策本部（第4回）を開催（7月10日（金）13:30）
 - ・ 九州農政局災害対策本部会議（第9回）開催（7月10日（金）17:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）
 - ・ 九州農政局災害対策本部会議（第10回）開催（7月13日（月）9:50）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）
 - ・ 東海農政局災害対策本部（第5回）を開催（7月13日（月）17:00）
 - ・ 中国四国農政局災害対策本部を設置、本部会議（第1回）を開催（7月14日（火）11:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集を指示）
 - ・ 九州農政局災害対策本部会議（第11回）開催（7月15日（水）17:00）
（被害等の情報共有、被災情報の収集、リエゾン派遣を継続）

<森林管理局>

- ・ 九州森林管理局に災害対策本部を設置（7月4日（土）4:50）
- ・ 九州森林管理局災害対策本部会議（第1回）開催（7月4日（土）8:00）
（気象や被害等の情報共有、情報収集体制の確保及び職員の安否確認を指示）
- ・ 九州森林管理局災害対策本部会議（第2回）開催（7月4日（土）10:00）
（引き続き気象情報、被害情報、職員の安否確認等の情報共有）
- ・ 九州森林管理局災害対策本部会議（第3回）開催（7月4日（土）17:00）
（被害等の情報共有、リエゾンからの情報共有）
- ・ 九州森林管理局災害対策本部会議（第4回）開催（7月5日（日）19:00）
（被害等の情報共有、今後の情報収集体制等を確認）
- ・ 四国森林管理局に災害情報連絡室を設置（7月6日（月）8:30）
（気象情報を共有するとともに、安全確保、速やかな情報収集を指示）
- ・ 関東森林管理局に災害情報連絡室を設置（7月6日（月）9:30）
（気象情報を共有するとともに、安全確保、速やかな情報収集を指示）
- ・ 中部森林管理局に災害情報連絡室を設置（7月6日（月）9:30）
（気象情報を共有するとともに、安全確保、速やかな情報収集を指示）
- ・ 九州森林管理局災害対策本部会議（第5回）開催（7月6日（月）19:15）
（気象情報、被害情報等の共有、被災県への支援体制を確認）
- ・ 近畿中国森林管理局に災害情報連絡室を設置（7月7日（火）9:30）

- (気象情報を共有するとともに、安全確保、速やかな情報収集を指示)
- ・中部森林管理局災害情報連絡室を災害対策本部に改組(7月8日(水)6:30)

- (気象情報を共有するとともに、安全確保、速やかな情報収集を指示)
- ・中部森林管理局災害対策本部会議(第1回)開催(7月8日(水)8:35)
 - ・九州森林管理局災害対策本部会議(第7回)開催(7月8日(水)16:30)
 - ・中部森林管理局災害対策本部会議(第2回)開催(7月8日(水)16:30)
 - ・中部森林管理局災害対策本部会議(第3回)開催(7月9日(木)11:30)
 - ・九州森林管理局災害対策本部会議(第8回)開催(7月9日(木)16:00)
 - ・中部森林管理局災害対策本部会議(第4回)開催(7月10日(金)10:00)
 - ・九州森林管理局災害対策本部会議(第9回)開催(7月10日(金)16:00)
 - ・中部森林管理局災害対策本部会議(第5回)開催(7月13日(月)10:00)
 - ・九州森林管理局災害対策本部会議(第10回)開催(7月13日(月)16:00)
 - ・中部森林管理局災害対策本部会議(第6回)開催(7月14日(火)10:00)
 - ・九州森林管理局災害対策本部会議(第11回)開催(7月14日(火)16:00)
 - ・中部森林管理局災害対策本部会議(第7回)開催(7月15日(水)16:30)
 - ・九州森林管理局災害対策本部会議(第12回)開催(7月15日(水)16:30)
 - ・JAXAとの協定に基づきALOS-2(合成開口レーダ)による緊急観測を実施。観測結果について九州森林管理局から熊本県及び鹿児島県へ、中部森林管理局から長野県及び岐阜県へ情報提供。
 - ・九州森林管理局で7月8日(水)にヘリ調査を実施。調査データを熊本県などや、災害情報を集約する内閣府の災害時情報集約支援チーム(ISUT)に情報提供。
 - ・中部森林管理局及び九州森林管理局で7月16日(木)にヘリ調査を実施。
 - ・九州森林管理局で7月17日(金)にヘリ調査を実施予定。

<国立研究開発法人>

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)において、豪雨被害への総合的な技術相談窓口を設置(7月8日(水))
- ・農研機構において、大分県のため池2か所(大分市、臼杵市)の被害状況調査のため、専門家を3名派遣。(7月13日(月))
- ・農研機構において、水路トンネル(志布志市)の被害状況調査のため、専門家を2名派遣。(7月14日(火)、15日(水))

- ・農研機構から福岡県、佐賀県、熊本県の試験研究機関に対し、いつでも技術相談に応じられる旨を電話連絡（7月15日（水））

7 地方公共団体等に対する情報提供

- ・生産局が「浸水したトラクター・コンバイン等農業機械の取扱の周知徹底について」を通知（7月6日）
- ・生産局が「令和2年7月豪雨により、経営への影響を受ける畜産経営者に対する飼料代金の支払猶予について」を通知（7月6日）
- ・経営局が「令和2年梅雨前線に伴う大雨による被害農林漁業者等に対する資金の円滑な融通、既往債務の償還猶予等について」等を通知（7月6日）
- ・林野庁が「災害復旧事業における査定前着工の積極的な活用について」を通知（7月6日）
- ・水産庁が「梅雨前線に伴う7月3日からの大雨による被害に対する水産多面的機能発揮対策事業の活用について」を通知（7月6日）
- ・水産庁が「令和2年7月3日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知（7月6日）
- ・九州農政局が「令和2年7月3日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知（7月6、8、9日）
- ・消費・安全局が「令和2年7月3日からの大雨を受けた食品表示法に基づく食品表示基準の運用について」を通知（7月7日）
- ・農村振興局が「令和2年7月豪雨に伴う工事等の入札・契約手続等について」を通知（7月7日）
- ・農村振興局が「災害復旧事業における査定前着工の積極的な活用について」を通知（7月8日）
- ・農村振興局が「令和2年7月豪雨による被災地域における多面的機能支払交付金の取扱いについて」を通知（7月8日）
- ・農村振興局が「令和2年7月豪雨の被災地域における中山間地域等直接支払交付金の取扱いについて」を通知（7月8日）
- ・水産庁が「令和2年7月3日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知（7月8日）
- ・水産庁が「令和2年梅雨前線に伴う大雨による被害漁業者等に対する資金の円滑な融通、既往債務の償還猶予等について（依頼）」を通知（7月8日）
- ・水産庁が「令和2年7月豪雨による漁業被害等に係る迅速かつ適切な損害評価等の実施及び共済金等の早期支払について（依頼）」を通知（7月8日）

- ・関東農政局が「令和2年7月3日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知（7月8日）
- ・九州農政局が「令和2年7月豪雨に伴う農作物の被害防止に向けた技術指導の徹底について」を通知（7月8日）
- ・水産庁が「令和2年7月3日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知（7月9日）
- ・水産庁が「令和2年7月豪雨に伴う工事等の入札・契約手続き等について」を関係都道府県等に対して参考として通知（7月9日）
- ・東海農政局が「令和2年7月3日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知（7月9日）
- ・消費・安全局、生産局及び政策統括官が「令和2年7月豪雨」に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について」を通知（7月10日）
- ・林野庁が「大雨等の自然災害に伴う被災地及び被災者への補助施設の目的外使用について」を通知（7月10日）
- ・林野庁が「令和2年7月豪雨による被害の復旧・復興に向けた対応について（依頼）」を林業関係団体に対して通知（7月10日）
- ・水産庁が「梅雨前線に伴う7月3日からの大雨による被害に対する水産多面的機能発揮対策事業の活用について（留意点）」を通知（7月10日）
- ・経営局が「令和2年7月豪雨による農作物等の被害に係る迅速かつ適切な損害評価の実施、共済金の早期支払等について」を通知（7月13日）
- ・林野庁が「令和2年7月豪雨に伴う工事等の入札・契約手続等について」を通知（7月13日）
- ・林野庁が「令和2年7月豪雨による災害復旧事業等の前金払の取扱いについて」を通知（7月14日）
- ・生産局が「令和2年（2020年）7月豪雨の被災地における早期の営農再開に向けた生産資材の円滑な供給等について」を通知（7月15日）
- ・農村振興局が「令和2年7月豪雨による被災地域における農業農村整備事業等の執行について」を通知（7月15日）
- ・農村振興局が「令和2年7月豪雨による被災地域における農業農村整備事業等の執行に係る具体的措置について」を通知（7月15日）
- ・農村振興局が「令和2年7月豪雨による被災地域における農業農村整備事業等の執行に係る現場説明書の記載例について」を通知（7月15日）
- ・中国四国農政局が「令和2年7月3日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知（7月16日）

農林水産関係被害の概要

令和2年7月豪雨

(7月17日12:00時点)

- 令和2年7月豪雨では、農作物、農地・農業用施設、林野・水産関係に広く被害が発生
- 農林水産関係で476億円（調査中）の被害が確認（40道府県）

農林水産関係被害の概要

【農作物等の被害】

・被害額：43.5億円
 ※熊本県をはじめ22府県714haで農作物が冠水被害等



農業用ハウスの冠水

【林野関係の被害】

・被害額：265.2億円
 ※熊本・長野県等30道府県、618箇所で山腹崩壊などが発生等



山腹崩壊による人家等の被害

【水産関係の被害】

・被害額：4.6億円
 ※漁港・海岸施設は熊本県をはじめ8県55箇所漂流木等漂着被害等



漂着した流木等

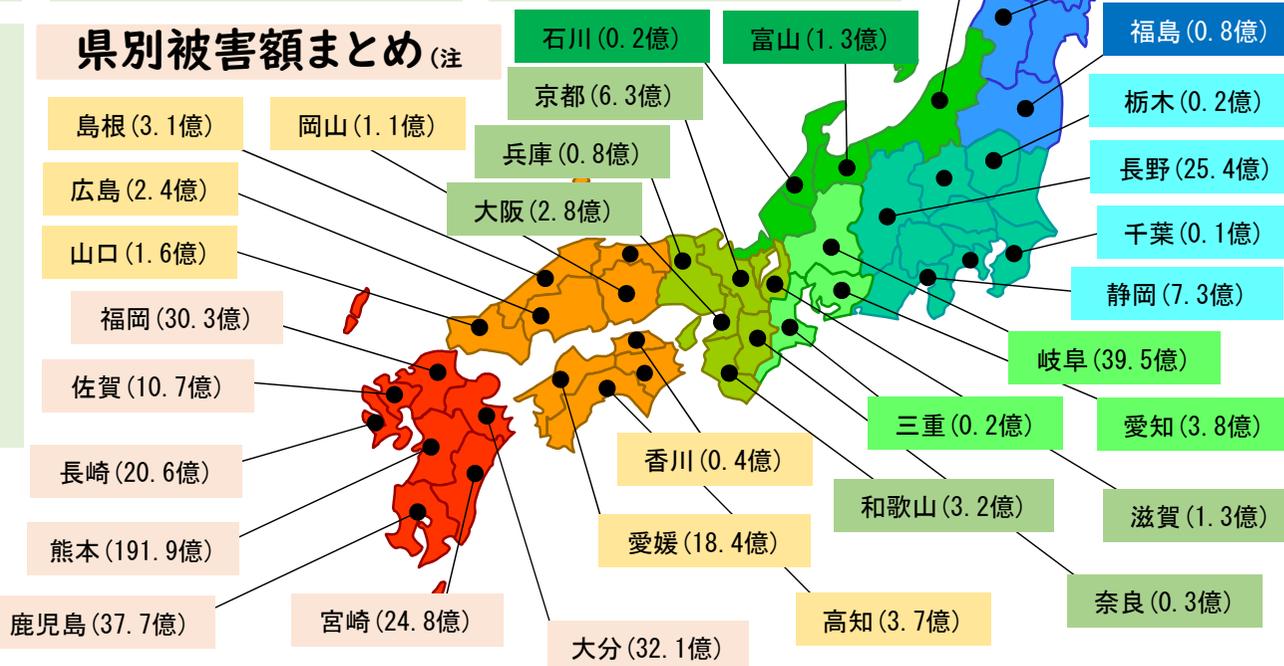
【農地・農業用施設の被害】

・被害額：162.7億円
 ※農地への土砂流入、水路の破損等



防災重点ため池堤体の一部損傷

県別被害額まとめ(注)



農林水産関係被害の内訳

区分	主な被害	被害数	被害額(億円) (*1)
農作物等	農作物等(*2)	714ha	7.8
	樹体(*3)	1.9ha	0.2
	家畜	113,913頭羽	1.2
	農業用ハウス等	196件	1.5
	農業用倉庫・処理加工施設等	39件	6.9
	畜産用施設	20件	0.1
	共同利用施設	5件	0.3
	農業・畜産用機械	620件	25.5
	その他	7件	調査中
	小計		43.5
農地・農業用施設	農地の損壊	3,588箇所	67.1
	農業用施設等	2,785箇所	95.6
小計		162.7	
林野関係	林地荒廃	618箇所	191.5
	治山施設	54箇所	6.3
	林道施設等	1,820箇所	62.2
	木材加工・流通施設	29件	4.2
	特用林産物施設等	24件	1.0
小計		265.2	
水産関係	漁船	8隻	調査中
	養殖施設	11件	調査中
	水産物	15件	調査中
	漁具倉庫等	5件	0.2
	漁港施設等	3漁港	1.2
	共同利用施設(水産)	8件	0.4
	海洋漂着物等	55箇所	2.9
小計		4.6	
合計			476.0

*1：現時点で都道府県から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。なお、報告には被害数、被害額が調査中のも含まれる。
 *2：水稲、大豆、にんじん、トマト、キュウリ、ネギ、オクラ、かぼちゃ、タマネギ、水菜、なす、もも、イチジク、キウイ、はつさく、すもも、花き、葉たばこ等
 *3：もも、ぶどう、ゆず、栗

(注：被害額は千万円単位に四捨五入。四捨五入の結果、被害額が1千万円未満(調査中含む)となった被災5県(青森、群馬、神奈川、鳥取、徳島)は旗揚げしていないことに留意。

農林水産関係被害の概要（農作物等）

令和2年7月豪雨

(7月17日12:00時点)

- 農作物等は、22府県714haが冠水等被害、被害額は7.8億円
 - 農業・畜産用機械は2県620件で冠水被害等、被害額は25.5億円
 - 農業用ハウスは、11県196件が損壊被害、被害額は1.5億円等
- 合計43.5億円（調査中）の被害**

【凡例】
 : 農作物等が被災

【水田の土砂流入被害】
 ・堤防越水により水田に土砂が流入
げろし
 (岐阜県下呂市)



農作物等 被害の内訳

主な被害	被害数	被害額(億円) (*1)
農作物等(*2)	714ha	7.8
樹体(*3)	1.9ha	0.2
家畜	113,913 頭羽	1.2
農業用ハウス等	196件	1.5
農業用倉庫・ 処理加工施設等	39件	6.9
畜産用施設	20件	0.1
共同利用施設	5件	0.3
農業・畜産用 機械	620件	25.5
その他	7件	調査中
合計		43.5

【家畜・畜産用施設の被害】
 ・土砂流入による鶏舎の損壊
たらちよう
 (佐賀県太良町)



【農業用ハウスの冠水被害】
 ・冠水したハウス栽培の柑橘類
たしきたまち
 (熊本県芦北町)



【冠水による被害】
 ・冠水した葉たばこ圃場に流失した
 牧草ロール
ちよう
 (熊本市あさぎり町)



【農業用機械の冠水による被害】
 ・冠水したコンバイン
ひとよし
 (熊本市人吉市)



*1: 現時点で都道府県から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。なお、報告には被害数、被害額が調査中のものも含まれる。
 *2: 水稲、大豆、にんじん、トマト、キュウリ、ネギ、オクラ、かぼちゃ、タマネギ、水菜、なす、もも、イチジク、キウイ、はっさく、すもも、花き、葉たばこ等
 *3: もも、ぶどう、ゆず、栗

農林水産関係被害の概要（農地・農業用施設等）

令和2年7月豪雨

（7月17日12:00時点）

- 防災重点ため池は11箇所では被災（人的被害なし）
 - 農地は、27府県3,588箇所では損壊被害、被害額は67.1億円
 - 農業用施設は、28府県2,785箇所では損傷等被害、被害額は95.6億円
- 合計162.7億円（調査中）の被害**

【農地の崩壊】

- ・土砂流入により、用水路が埋没
(岐阜県下呂市)

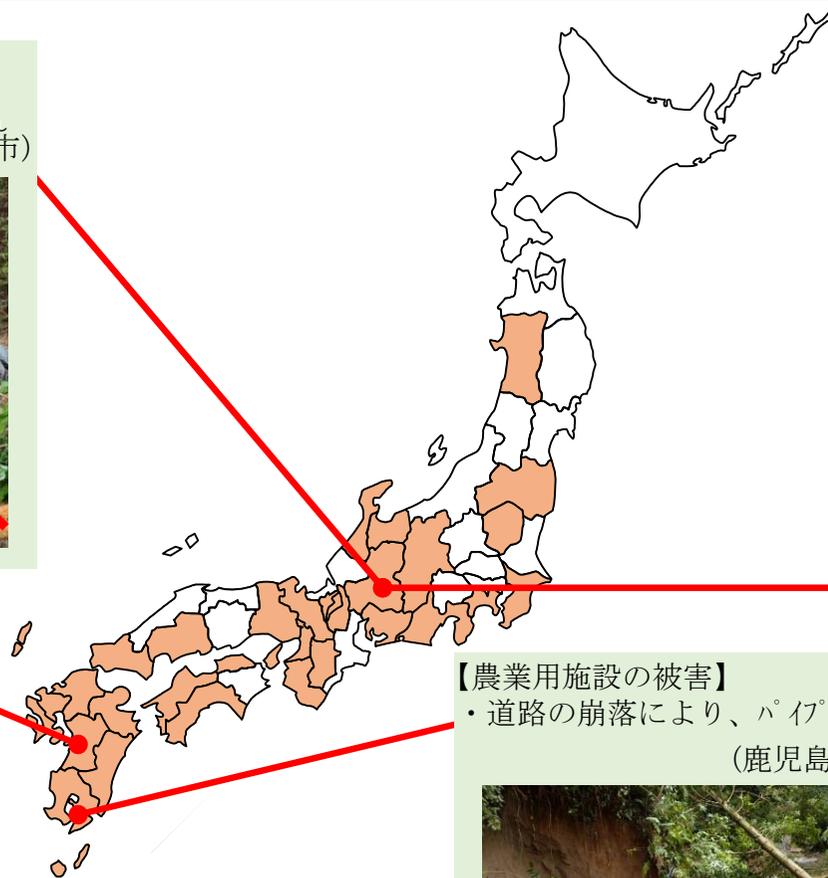


農地・農業用施設等被害の内訳

主な被害	被害数	被害額(億円) (*1)
農地の損壊	3,588箇所	67.1
農業用施設等	2,785箇所	95.6
合計		162.7

*1：現時点で都道府県から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。なお、報告には被害数、被害額が調査中のものも含まれる。

12



【農業用施設の被害】

- ・防災重点ため池堤体の一部が損傷
(熊本県上天草市)



【農業用施設の被害】

- ・道路の崩落により、パイプラインが離脱
(鹿児島県大崎町)



【農地の崩壊】

- ・河川氾濫により農地の一部が崩壊
(岐阜県下呂市)



【凡例】

: 農地、農業用施設が被災

農林水産関係被害の概要（林野関係）

令和2年7月豪雨

(7月17日12:00時点)

- 林野関係は、37道府県2,545箇所が林地荒廃等被害、**合計265.2億円（調査中）の被害**
- 本庁及び森林管理局から災害復旧等の技術支援やリエゾン派遣により災害対応を支援

【落石】

- ・落石により国道が被災
ありたがわちよう
(和歌山県有田川町)



【山腹崩壊】

- ・土砂が林道へ流入、2世帯が一時孤立
いいたし
(長野県飯田市)



林野関係 被害の内訳

主な被害	被害数	被害額(億円) (*1)
林地荒廃	618箇所	191.5
治山施設	54箇所	6.3
林道施設等	1,820箇所	62.2
木材加工・ 流通施設	29件	4.2
特用林産物 施設等	24件	1.0
合計		265.2

*1: 現時点で都道府県から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。なお、報告には被害数、被害額が調査中のものも含まれる。



【凡例】

○ : 林野関係が被災

【山腹崩壊】

- ・土砂が流出し、人家が被災
ひたし
(大分県日田市)



【山腹崩壊】

- ・土砂が流出し、人家が被災(3名死亡)
あしきたまち
(熊本県芦北町)



【山腹崩壊】

- ・土砂が流出し、人家が被災
たるみずし
(鹿児島県垂水市)



【山腹崩壊】

- ・鉄道線路内に土砂が流出
(京都府京都市)



農林水産関係被害の概要（水産関係）

令和2年7月豪雨

(7月17日12:00時点)

○漁港・海岸では、熊本県等8県55箇所が流木等漂着被害、被害額は2.9億円他調査中

○漁港施設は3県3施設が損壊被害、被害額は1.2億円他調査中 等

合計4.6億円（調査中）の被害

○横浦漁港(熊本県天草市)等8漁港・海岸において、応急工事に着手(7月7日～)

水産関係 被害の内訳

主な被害	被害数	被害額(億円) (*1)
漁船	8隻	調査中
養殖施設	11件	調査中
水産物	15件	調査中
漁具倉庫等	5件	0.2
漁港施設等	3漁港	1.2
共同利用施設 (水産)	8件	0.4
海岸漂着物等	55箇所	2.9
合計		4.6

*1: 現時点で都道府県から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。なお、報告には被害数、被害額が調査中のものも含まれる。

【海岸等漂着物（漁港・海岸）】

・郡浦漁港・海岸（熊本県宇城市）



【海岸等漂着物（漁港）】

・大鞘漁港（熊本県八代市）



【海岸等漂着物（海岸）】

・御所浦漁港（熊本県天草市）



【海岸等漂着物（海岸）】

・合串漁港（熊本県津奈木町）

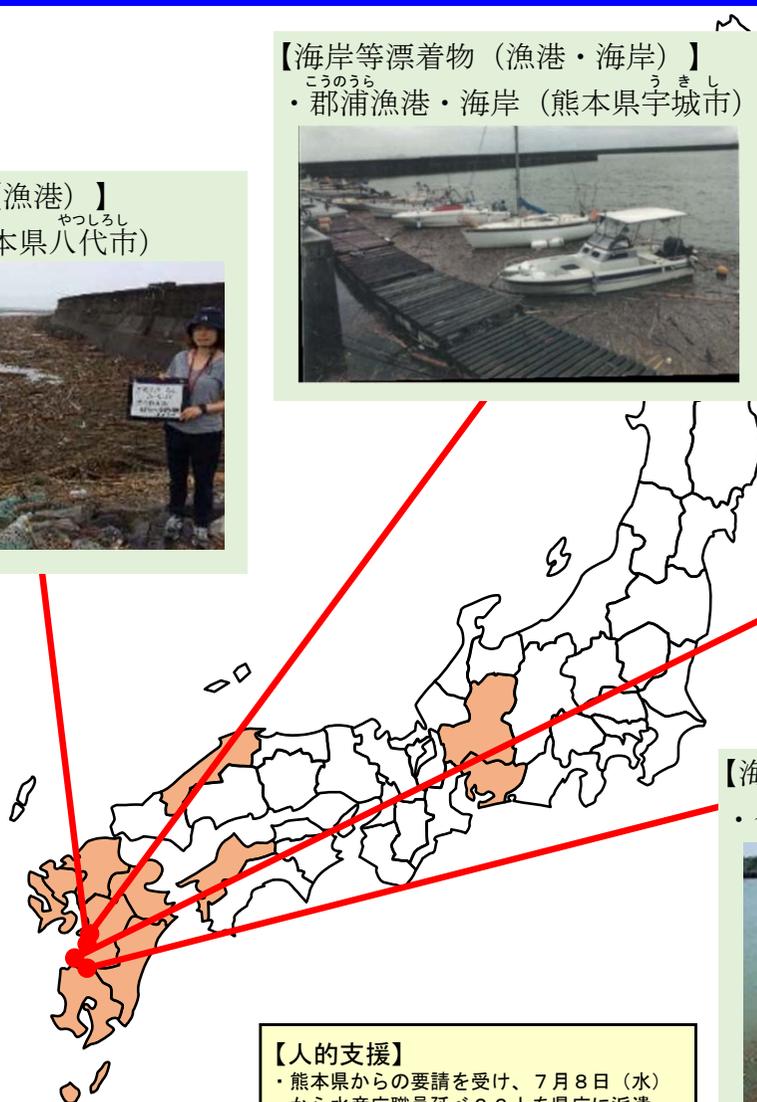


【人的支援】

・熊本県からの要請を受け、7月8日（水）から水産庁職員延べ22人を県庁に派遣

【凡例】

○ : 水産関係の被災県



食料支援等の対応状況（プッシュ型支援）

令和2年7月豪雨

(7月17日12:00時点)

- 7月4日、内閣府防災からの要請を受け、熊本県に対する食料支援の手配を開始
- 7月16日までに、熊本県の広域物資拠点ましきまち（益城町）に食料6万点、飲料8万1千点、乳幼児ミルク2千点が到着
- 順次避難所等に配送

品目別食料支援数

品 目		要請数	手配中	到着数
食 料	パックご飯	25,000		25,024
	レトルト・詰	25,000		25,074
	カップめん	10,000		10,080
	小 計	60,000		60,178
飲 料	水	40,000		40,050
	お茶	22,000	12,000	10,368
	スポーツドリンク	7,000		7,008
	経口補水液	3,000		3,000
	野菜ジュース	20,000		20,376
	小 計	92,000	12,000	80,802
乳児用ミルク	粉ミルク	300		360
	液体ミルク	900		1,656
	小 計	1,200		2,016
合 計		153,200	12,000	142,996

熊本県広域物資拠点の状況



【広域物資拠点の搬出入口】



【支援物資の搬入】



【配送待ちの支援物資】

- 関東・東海・九州農政局、中部・九州森林管理局、農村振興局、林野庁、水産庁から、のべ466人のMAFF-SATを県拠点職員を中心に被災地に派遣
- コロナ禍において派遣者の健康状態に留意し、派遣者を選定。

被災状況調査 (山地)

- 被災自治体と連携し、ヘリによる広域調査を実施
- 技術支援職員を派遣し、熊本県芦北町で県と合同調査を行うとともに、復旧事業の申請に必要な技術指導を実施



【熊本県 (熊本市)】



あしきたまち
【熊本県 (芦北町)】

被災状況調査 (ため池)

- 甚大な被害を受けた地域におけるため池の被災状況を調査
- 自治体と調整の上、ポンプによる排水など応急措置を実施



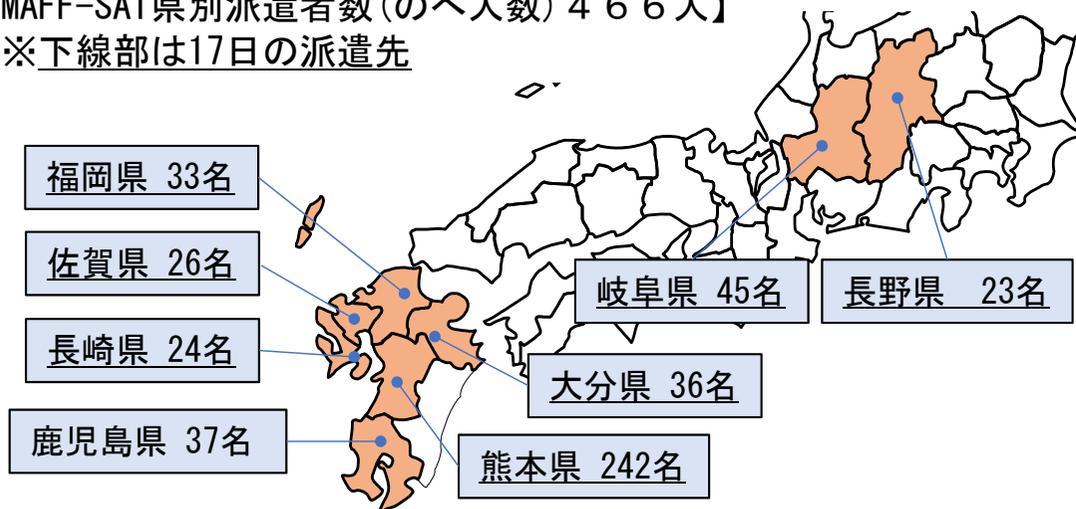
かみあまくさし
【熊本県 (上天草市)】



かみあまくさし
【熊本県 (上天草市)】

【MAFF-SAT県別派遣者数(のべ人数) 466人】

※下線部は17日の派遣先



リエゾンの活動状況



【熊本県 (熊本市)】

MAFF-SAT (農林水産省派遣職員) の健康管理基準

- ✓ 2週間にわたって発熱がない。(検温結果を記録している)
- ✓ 咳、強い倦怠感、味覚・嗅覚障害等の症状がない
- ✓ 熱がある等体調不良を感じたときはためらわずに休む
- ✓ 陽性者と接触していない/
接触した懸念があるときは速やかに報告する
- 「新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)」を利用している
- 同居家族が発熱していない
- 同じ執務室の職員が発熱していない



【健康管理基準】